

# WinWin 食支援セミナー一覧

カテゴリー	テーマ	主な内容	講師	職種
摂食嚥下機能	施設・在宅で実践する『嚥下評価とリハビリ』ワークセミナー	誤嚥をしないための食事の見極めや食事を上げるための簡単嚥下訓練の方法を学び、さらに、食べさせ方において、効果的なカリリーのとり方から食事のやめさせるタイミングまでのポイントを習得します。	柴山 亜佐美	訪問看護ステーションリカバリー言語聴覚士
	食べる機能高める摂食嚥下リハビリと腹臥位療法の応用	誤嚥をなくし嚥下困難の改善をするための口腔リハビリのポイントと腹臥位療法を応用（枕やタオル・クッションボールを併用など）しての短時間で効果の上がるアプローチ法を習得します。	松下 秀明	SOMPO ケアネクスト顧問言語聴覚士
	認知症の症状進行摂食嚥下障害との関係	認知症患者さんの症状進行（初期、中期、末期、終末期）と摂食嚥下障害との関係をまず理解し、その症状進行での患者さん・利用者さんとのかかわりのポイントと『安全に・美味しく・スムーズに』口から食べてもらうためのアプローチ法を習得します。		
	摂食嚥下評価と食事介助技術のコツ	ムセ込み・誤嚥を防ぎ、安全で楽しい食事介助テクニックの基本を身に付け、さらに、口から食べるための包括的支援スキルとして開発された「KT（口から食べる）バランスチャート」の実際と事例を交え習得します。	金 志純	東京小児療育病院摂食嚥下障害看護認定看護師
	『重症心身障害児(者)の食事ケア』実践セミナー～対象の理解とケアのポイント～	本セミナーでは、重症心身障害児・者に安全な食事介助を行うための、基本的な摂食嚥下のメカニズムと機能の発達について理解を深めます。さらに、病態の特徴を理解した上で、嚥下障害にともなう誤嚥や諸症状を引き起こす誘因、関連性を多角的視点から評価する方法と、豊富な事例からそのアプローチのポイントを実習を交えて習得します。		
口腔環境	食べること・生きること「口腔ケアと地域食支援」セミナー	口腔内のトラブルは、誤嚥性肺炎や感染症などを引き起こすリスクと直結しており、生命をも脅かす危険もあると言われています。口腔ケアを正しく理解することは、誤嚥性肺炎などの感染症を予防するだけでなく、さらに生きる力としての食支援の実践にも繋がります！食支援には大きく3つの目標があります。適切な栄養状態を維持すること、最期まで口から食べることを支えること、そして食事を楽しんでいただくこと。この食支援を地域で実践していくためには多職種連携が必要不可欠です。本セミナーは、そのための知識と技術を習得します。	五島 朋幸	ふれあい歯科ごとう代表新宿食支援研究会代表歯科医師
	がん患者・緩和での口腔ケア実習セミナー	嚥性肺炎予防・化学療法による口腔粘膜炎、口腔乾燥・口腔内出血・口腔カンジダ症、舌苔、平滑舌、疼痛や薬剤による様々な口腔内の副作用などを和らげる口腔ケアの知識と技術の基本を習得します。	塚本 敦美	藤枝市立総合病院歯科衛生士
	包括的口腔ケア実践セミナー～誤嚥性肺炎を防ぎ、食べる機能に繋ぐ～	在宅における口腔環境の課題として、大きく誤嚥性肺炎の問題と口から食べるための口腔機能の維持・向上があります。本セミナーは、在宅の現場でよく遭遇する口腔乾燥、舌苔（舌の汚れなど）、口の臭い、歯茎からの出血など多くの口腔の悪環境を短時間で効果的に改善し、さらに食べる支援につなげる包括的口腔ケアを実習主体で習得します。	山下 ゆかり	ちとせデンタルクリニック歯科衛生士
食環境	なぜ、同じケアを受けていて差がでるのか？『環境が与えるADLへの悪影響！』リスクを減らすワークセミナー	～自立支援からスムーズな食事動作まで、瞬時に改善できる環境改善術を習得～ なぜ、同じケアを受けていて差がでるのか？本人の身体機能や疾患のせいと決めつけていないですか？実は、その人に合っていない環境がADLを劇的に悪くしている事が多くあります。環境のちょっとした設定を変えるだけで、見違えるほど、その方の機能が向上することをご存知ですか。本セミナーは、講師がのべ1万件の介護現場から工夫改善した事例をもとにリスクを軽減する環境改善術のノウハウを習得するセミナーです。その環境改善術は介護現場の原理原則として、各メディアでの取り上げられています。	山上 智史	株式会社K-WORKER介護福祉士福祉用具専門相談員
	「椅子があたえる食べることへの影響」シーティング実習セミナー	日常生活において、寝る、座る、立つという姿勢で過ごす時間は、その方のADL・QOLに大きく関わっています。その中で食事は座って摂ることが多いため、それに大きく影響を及ぼすのが、ベッド・椅子・車椅子など身近な用具です。本セミナーは、日常座る椅子などが身体に与える影響を理解し、スムーズに食べられことを実現するための椅子・車椅子の診かた・工夫の仕方のポイントを豊富な事例をもとに実習を交えて習得します。	栗原 俊介	有限会社オオタ商会シーティングエンジニア

カテゴリー	テーマ	主な内容	講師	職種
全身状態	睡眠改善が及ぼす食べる意欲・免疫機能への影響	なぜ、食べる意欲がでないのか？なぜ、食べる機能が落ちてくるのか？睡眠が大きく影響を及ぼしている事をご存知ですか？実は、睡眠の質を改善すること免疫機能や体調に大きな変化を与えられます。本セミナーは、まず、熟眠することのメリット、熟眠できない理由を理解し、利用者の快適な眠りに導くための睡眠衛生方法を学びます。さらに、自律神経の改善へつなげ、消化吸収をよくし免疫機能の向上、食べる意欲を引き上げるための知識とアプローチ法を習得します。	藤巻 弘太郎	ふばいオハナ歯科院長日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト歯科医師
	薬による食べることへの影響	「食べる動作が上手くいかない」「食べている最中によくむせる」「食べるのに時間がかかる」など、実は、薬が嚥下機能へ影響を及ぼしていることがあります。安全に美味しく口から食べて頂くために、医療・ケアスタッフの方々に薬の正しい基礎知識と対応法などを習得。さらに、薬の内服がなかなか難しい方へ「薬の飲み方」など、すぐに使えるヒントも習得します。	齊藤 直裕	株式会社ファークスファークス薬局新宿薬剤師
	食事姿勢の理解と調整法	自力で食事困難な方へ安全に・美味しく・スムーズに食事をしていただくために必要な食事姿勢の観察ポイントと食事姿勢の調整法である「二段階法」の習得。	越後 雅史 市川 壘	株式会社K-WORKER理学療法士
	在宅における経口摂取の支援「早期発見と早期対応のポイント」実践セミナー～口から食べ続けられるための支援法を習得～	在宅における摂食嚥下障害の患者が「最期まで口から食べる」ことは、介助者一人では難しい事も事実です。身近な家族を含めた他職種チームの協力がある、はじめて禁食から経口摂取再開という飛躍に繋がります。そのためにも情報共有、ケア目的の共有、異常時の早期対応方法など実践する知識と技術を、豊富な実践例をもとに習得します。	飯塚 千晶	訪問看護ステーションやごころ看護師
	動作が与える食への影響	なぜ、うまく食べられないのか？なぜ、むせてしまうのか？食べられていると思っても、実はその方はすごく辛い思いをしているのをご存知ですか？実は、それら全ては動作がその人のADLや食べる楽しみというQOLに大きく影響を及ぼしています。当たり前だと思っていた動作や道具・環境・習慣、例えば、ちょっとしたスプーンの持ち方を変えるだけで、見違えるほど、安心・安全で、かつ食事のスピードが得られます。本セミナーでは、エビデンスと学術的根拠に基づいた、食事動作を含めた日常生活動作の視点と工夫を実践的に習得します。	臼井 悠	介護老人保健施設デンマークイン新宿作業療法士
	栄養	糖尿病・慢性腎臓病と透析の栄養学と食事術セミナー	健康寿命の延伸を目的として、施設在宅で取り組むための糖尿病・腎症の悪化予防とリスク回避のための各病態に応じた食事内容の知識と食事指導のコツを習得する食事術の講座です。	川口美喜子
「がん患者の食と栄養ケア」ワークセミナー		がん患者の栄養ケアは、診断されてから、治療前後と病期の経過と共に食事・栄養管理の目標も変化します。がんと共に生きる時代になり、適切な食事摂取についての知識を持つことが日々の生活を支えるため重要となります。治療方法（化学療法・放射線治療・手術・免疫療法）による副作用や機能障害に対する食と栄養管理および緩和ケア、終末期ケアの具体的な食の支援について事例を通して学びます。		
脳梗塞・循環器疾患 高血圧の悪化予防～食欲をそそる「減塩と塩分摂取の知識と見極め」～		「脳梗塞・循環器疾患・高血圧」の悪化予防のための食塩と高血圧や循環器病、食塩の必要量と摂取量や推奨量、さらに食塩制限のポイントとコツを学び「減塩と塩分摂取の見極め」と、さらに、減塩しても美味しさを保ち食欲のそそるリクス軽減食を習得します。	板垣 裕	武蔵野栄養専門学校管理栄養士
地域連携	食支援を広げる地域連携のあり方・構築の仕方ワークセミナー	①食支援におけるアセスメント、プランニング、モニタリング②食支援における社会資源と連携方法③連携の実際 食は生きる源！最期まで口から食べられるために、食支援を広げる地域連携のあり方・構築の仕方を豊富な実践例に基づきワークを交え学びます。主な内容として、食支援における『アセスメント、プランニング、モニタリング』をワークを交えて習得します。さらに、食支援における社会資源と、連携方法のコツを実践例を交えて習得します。	森岡 真也	株式会社モテギケアマネジャー
	食支援における「人づくり・場づくり・街づくり」セミナー	本講座は、最期まで口から食べ続けられる社会造りの構築法を学ぶ講座です。平成21年より実践で培ってきた新宿食支援研究会の「人づくり・場づくり・街づくり」のノウハウを余すところなく吸収し、地域で食支援の実践を構築していけるようにしていく事を目的としています。具体的には、地域に根差す社会資源をどう見つけ、どのように繋いでいき、活かしていくか？他職種や行政・地域住民との連携方法。また、各々が自主的・積極的に活動していく組織作りのノウハウまでの知識とノウハウを1日で習得します。そして、ここから繋がる仲間づくりを行っていただける講座です。	五島 朋幸	ふれあい歯科ごとう代表新宿食支援研究会代表歯科医師
コーチング / コミュニケーション	セルフコーチング1日集中マスター『人をストレスフリーにし、人のやる気を引き出す3つの技法』	セルフコーチング手法を取り入れたコーチング技術とアサーション技術・ストレスマネジメントを習得し、見違えるほどあなたとあなたを取り巻く人・組織が変わり、さらに相手を傷つける事なく本音を、相手に伝える力も身に付き、相手の意識を変容させ、確実に本人のやる気を促し、個々の能力を発揮して成長に繋げる事が可能となる。	八巻 理恵	Artself 人材開発コンサルタント
施設訪問研修	介護施設・医療現場の働き方改革をサポート（職員の心の健康をつくる！）	組織にいる「人材」を「人財」に成長させ、「定着」し活躍して頂くようになる研修です。プログラムでは、本来日本人が持っている「和の精神」や「おもいやり」、道徳観を養い、職員の方々の精神が育成できます。本研修は職員の方々の精神性をこんな風に育成します。	八巻 理恵	Artself 人材開発コンサルタント

(2019年5月15日現在：)

※講演、シンポジウム、ワークショップ等は逐次開催

※詳細は以下より（常にセミナー開催の更新および新セミナー案内を掲載しています）

⇒セミナーページに飛ぶ [http](http://winwin-japan.com/seminars/) および QRコード

<https://winwin-japan.com/seminars/>

